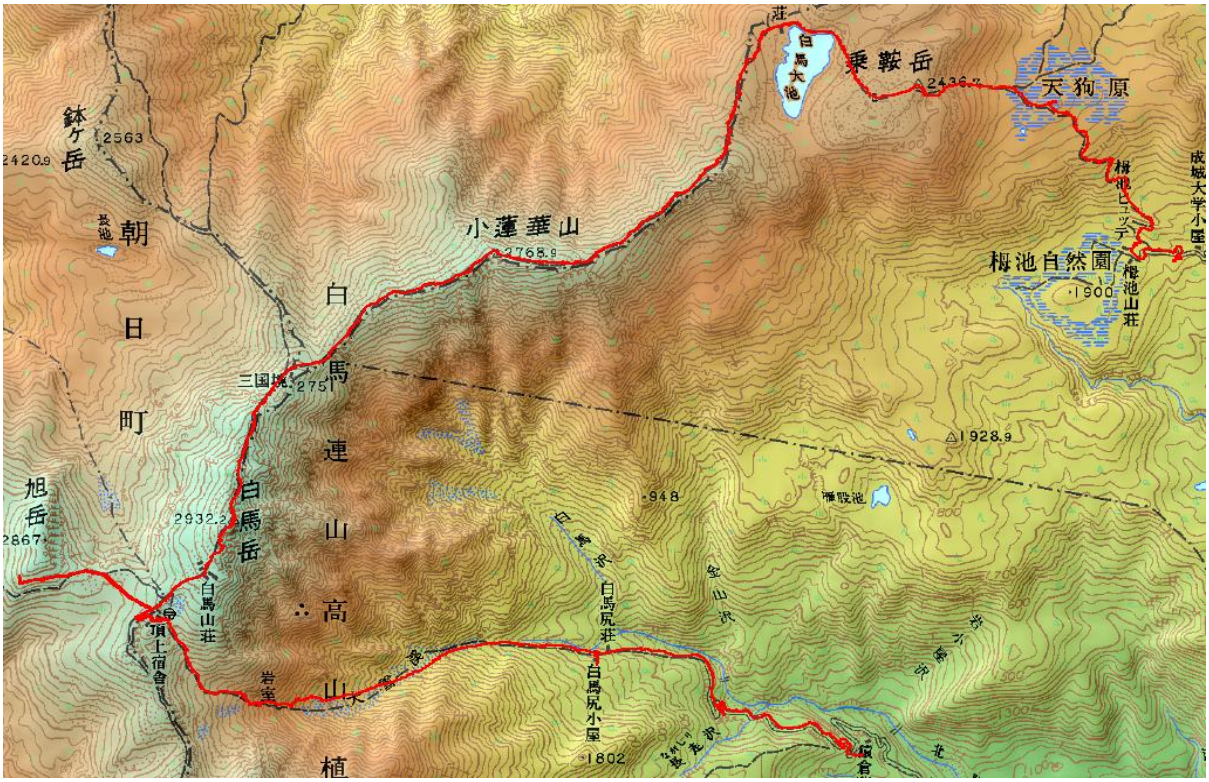
山 行 報 告 書

報告書作成	2012年8月21日

山名［山域］	白馬岳 ［北アルプス］	目的と方法	展望、トレッキング、花、雪渓、御来光
登山期間	8月3日夜発8月4日5日	山行形態	前夜発1泊2日（営業小屋泊）
参加人数	4人		

【行動記録】　==：車　--：歩き　++：公共交通機関　TS：テントサイトor宿泊施設　（到着時刻、出発時刻）

【8/3】豊田東IC(21:00)==2:15==梓川SA(23:15,23:25)==0:10==豊科IC(23:35)==1:10==猿倉P、就寝(0:45)TS14:15TS1【8/4】起床、出発(5:00,6:00)--1:20--白馬尻小屋 (7:20,7:40)--0:15--大雪渓始まり(7:55,8:10)--1:35--大雪渓終わり(9:45,10:00)--2:20--村営白馬頂上山荘(12:20,14:00)--0:00--旭岳周辺を散策(14:00,15:50)TS211:10TS2【8/5】起床、出発(3:00,4:00)--0:35--白馬岳山頂で御来光(4:35,5:40)--1:00--小蓮華岳(6:40,6:50)--2:00--白馬大池(8:50,9:10)--1:20--天狗原(10:30,10:40)--1:20--栂池自然園 ロープウェイ(12:00)++0:20++栂池高原 タクシー(12:20)++0:30++猿倉P(12:50,13:00)==0:30==倉の下の湯(13:30,14:20)==0:10==外食(14:30,15:00)==1:00==豊科IC(16:00)==4:00==豊田東IC(20:00)解散



【日誌】

猿倉Pに深夜1時前に着いた。50台ほどありそうな駐車場はほぼ満車。

快晴の朝日を浴びながらスタート。今から1600mの標高差を登る。はじめは木々の中の道。2時間ほどで大雪渓に着く。軽アイゼンをつけて大雪渓に挑む。白い雪道の中、アリの行列の一部になってひたすら歩く。ときどき振り返り、歩いた道を見て自分を勇気づける。小雪渓は今日から雪のない道になった。暑いので、道の雪渓側を歩くだけでも涼しい風が来て心地いい。小屋まであと40分くらいのところで、おいしい水があるので飲んだり汲んだりするとよい。カラフルにたくさんの花が咲いていた。

小屋には12時過ぎに着いて、部屋でごろごろして休憩。14時から旭岳へ散策に出発。旭岳からの景色はいい。人がまったくいなくて、山と雪と花の景色を堪能できる。

小屋の夕食はバイキング方式。郵便局と診療所も併設されている。わたしたちの部屋は個室6畳に4人。隣の白馬山荘の客は、混んでいて1畳に2人寝ると言っていた。

朝は早く起きて日の出前に小屋出発。白馬岳山頂にて御来光。稜線を歩き続けて白馬大池へ。それからは雪田を過ぎ、岩の道。けっこう長時間の下りの岩道は膝にくる。へとへとになりながら天狗原へ。もう終わりと思いきや、そこから栂池自然園へは1時間半かかった。ロープウェイ（@￥1720）で下山、タクシー（￥5500）で猿倉Pへ戻った。

【感想】

夏山の良さすべてを堪能できてよかったです。初めての小屋泊が、ゆったり個室＆おいしいバイキング夕食になったので、贅沢なスタートとなりました。個室は4人で泊まって一人当たりプラス￥2000なのでいいと思います。大雪渓の登りと白馬大池からの岩道の下りは長くて疲れました。

改定：2004.08.24